

ホームページから広報よこはま市版・各区版を読むことができます。

広報よこはま

けんさく  
検索



今年も横浜が花とみどりでいっぱい

## よこはま ガーデンネックレス横浜 2019

→くわしいことは、最後のページで

さとやま  
里山ガーデン  
だいかぼん  
大花壇 (2018年3月)

4月7日(日よう)は統一地方選挙の投票日です。

まじつまえとうりょう  
期日前投票 (選挙の日より前に  
とうりょう  
投票すること) などについては、  
くくぼん  
自分の区の区版を見てください。

## 花とみどりでいっぱいのガーデンシティ横浜



よこはましちょう  
横浜市長  
はやし ふみこ  
林 文子

今年も3月23日から72日間、「ガーデンネックレス横浜2019」が開かれます。横浜の町が花とみどりでいっぱいになります。みなとエリアの山下公園や港の見える丘公園、それから郊外の里山ガーデンには、桜、チューリップ、パンジーなど春の花がたくさん咲きます。ぜひ見にきてください。

5月には「横浜ローズウィーク」が開かれます。主役のバラは横浜市の花です。バラ園を案内するガイドツアーやワークショップがあります。レストランやホテルでは、バラをつかっていろいろなスイーツをつくります。たくさんのイベントで、バラの魅力を感じてください。西洋バラは、160年前に、横浜の港から日本に上陸したそうです。それからずっと、バラは横浜市民に愛されてきました。横浜の歴史を感じる港の風景の中で、バラいっぱいの町歩きを楽しんでください。

花とみどりは人々の心をゆたかにします。また町の魅力を高めて、にぎやかな町をつくり出します。花とみどりと笑顔の町「ガーデンシティ横浜」のとりにくみをすすめて、2026年の国際園芸博覧会を横浜にまねきたいと考えています。私たちはみんなで横浜のゆたかな自然環境をまもり育ててきました。それをつぎの世代にしっかり伝えていきたいと思ひます。



# さいがい 災害への備え、 その していますか？

多くの被害を出した東日本大震災から8年がたちました。横浜市は、東日本大震災から学んだことをもとにして、「よこはま地震防災市民憲章」をつくりました。食べものや飲みものの備蓄（たくわえておくこと）や防災訓練への参加など、ひとりひとりが日ごろできることが書いてあります。災害はどうしても起こります。でも被害をへらすことはできます。いつ起こるか分からない大地震のための備えを見なおしてみましょう。

## びちくひん じゅんぴ 備蓄品を準備しましょう

大地震が起きると、国や県や市からの支援はすぐには来ません。それに、食料品や日用品を買うのがむずかしくなります。あなたの家族や生活スタイルにあわせて、必要なものをたくわえておきましょう。

必要なものを最低3日分用意しましょう。避難するときに必要なものは、リュックサックなどに入れて、すぐ持ち出せるようにしましょう。

### びちくひん 備蓄品リスト

- **飲み水**  
1人3日分で9リットルです。  
たとえば3人家族なら、9リットル×3人＝27リットルです。
- **紙皿、紙コップ**
- **ビニール袋**
- **ティッシュペーパー**
- **トイレトペーパー**
- **食べもの**  
クラッカーなどそのまま食べられるものや、缶切りがいらぬ缶詰など。  
※食物アレルギーがある人は、自分にあったものを用意しましょう。
- **タオル**
- **ランタン、懐中電灯**
- **携帯ラジオ**
- **予備バッテリー、携帯電話の充電器**
- **トイレパック**  
1人3日分で15個ぐらい必要になるでしょう。  
※トイレパックは、家庭のトイレなどで使う「凝固剤」と「処理袋」のセットです。ホームセンターなどで買えます。
- **いつも使っている薬、お薬手帳、救急医薬品**
- **生理用品**
- **ホイッスル**  
※このリストにのっているものが全部ではありません。

定期的に使って、無理がないようにたくわえましょう。

食料や日用品を少し多めに買って、じゅんばんに使いながら、新しいものを買いたすのがローリングストックです。

定期的に買って、使った分を買いたすので、無理なくものをたくわえることができます。



どんな家族かによって、必要なものがちがってきます

**赤ちゃんや小さい子どもがいる家庭**  
ミルク、ほ乳びん、離乳食、スプーン、おむつ、おしり拭き、タオル（ガーゼ）、着がえ、ベビー毛布、だっこひも、おもちゃ / など

**妊婦がいる家庭**  
母子健康手帳、診察券、さらし、脱脂綿、ガーゼ / など

**介護が必要な人がいる家庭**  
着がえ、おむつ、障害者手帳、予備の補助具 / など

### ～大地震を経験した人から学ぶ～ 被害にあったときに、あつてよかったもの

過去の大地震では、断水が起きたので、たくさんの方は、生活用水（洗濯、お風呂、洗面、トイレなど）や飲み水、料理に使う水がなくなってしまいました。そんなときに、備蓄した水、水を運ぶポリタンクや台車、体をふくウェットティッシュが役に立ちました。

また、停電したりガスが止まったりするの、家族と連絡がとりにくくなったり、食事がつくれなくなったりしました。懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話の充電器、乾電池、卓上コンロがあると便利でした。女性では、生理用品を多めにもっていたのが役立ちました。



## ちいき 地域の訓練に さんか 参加しましょう

地域ではいろいろな防災活動をしています。自治会町内会が防災訓練をします。地域防災拠点では避難所を開いたり運営したりする訓練をしています。ひとりひとりが訓練に参加して、災害への備えにとりくんでください。

【この記事についてきくところ】 総務局危機管理課 TEL: 045-671-2012 FAX: 045-641-1677

## し ぼうさいけいかく ふうすいがいとつたいさくへん 市防災計画「風水害等対策編」をなおしました。

水の被害をふせぐことについての法律や、避難勧告（きけんな地域の人々に避難するようによびかけること）などについてのガイドラインが変わりました。また市民の意見もきいて、つぎのようなことを変更しました。4月1日から正式に使われます。

■ **災害に強い人・地域づくりの推進 ～助けが必要な人たちのための対策を強化します～**  
洪水や土砂災害のリスクが高い地域で助けが必要な人たちが利用する施設は、「避難確保計画をつくって報告すること」と「計画にもとづいて訓練を行うこと」が義務になりました。

■ **わかりやすい避難行動の伝達 ～「にげおくれる人をゼロにする」～**  
避難勧告などについてのガイドラインが変わったので、お年よりなど助けが必要な人が避難をいつ始めるかわかりやすいように、これまでの「避難準備情報」を「避難準備・高齢者等避難開始」とするなど、わかりやすい言いかたに変えました。

【この記事についてきくところ】

総務局危機対応計画課 TEL: 045-671-4359 FAX: 045-641-1677

## としやさいがいけいかいじょうほう はつひょう 土砂災害警戒情報を発表するときの 緊急速報メール（エリアメール）※の配信について

3月の終わりごろから、土砂災害警戒情報が発表されると、がけくずれなどの危険を伝えるために、神奈川県からその地域に緊急速報メールが配信されます。そのとき横浜市からは、決まった区域（即時避難勧告対象区域）に避難勧告が出て、緊急速報メールがとどきます。どこが決まった即時避難勧告対象区域なのか、ホームページで調べておきましょう。

※前もって登録する必要はありません。



【緊急速報メールについてきくところ】

総務局緊急対策課 TEL: 045-671-2064 FAX: 045-641-1677

【避難勧告の対象区域についてきくところ】 住んでいる区の総務課防災担当

今年も横浜が花とみどりでいっぱい

# ガーデンネックレス横浜 2019

「ガーデンシティ横浜」は町を花とみどりでいっぱいにするトリクミです。今年も、市民や企業と協力して、横浜のあちこちで「ガーデンネックレス横浜2019」が行われます。今年の春には、新しく「横浜ローズウィーク」を開きます。バラは、港が開かれてからずっと市民に愛されてきた市の花です。開港して160年めの記念の年に、色とりどりのバラの花を見ることができます。

## さとやま 里山ガーデン

(旭区上白根町1425-4 / よこはま動物園ズーラシアのとなり)



**【期間】3月23日(土よう)～5月6日(月よう・休日)**

**9:30～16:30 0円で入れます**

大花壇では横浜産の春の花がさきみだれます。ウェルカムガーデンや谷戸のはなの畑は、春を感じます。

## イベント情報

3月24日(日よう)・4月20日(土よう)には、里山ガーデンで三上真史さんによるイベントを開きます。5月には

はみなとエリアで河合伸志さん、吉谷桂子さんによる講演会もあります。かわいいことは、ホームページを見てください。



横浜の花とみどりをPRするアンバサダー  
三上真史さん



横浜イングリッシュガーデンスーパーバイザー  
河合伸志さん



ガーデンデザイナー  
吉谷桂子さん

## 市内あちこちの見どころ

市内の18区で、ガーデンネックレス横浜に合わせたさまざまなイベントが開かれます。また、あちこちに花壇や鉢植の花や木も登場して、市全体を花とみどりでネックレスのようにつなげます。

NEW

## 横浜ローズウィーク

(山下公園、港の見える丘公園)



マスコットキャラクター  
ガーデンベア  
©ITOON/GN

**【期間】5月3日(金よう・祝日)～6月2日(日よう)**

**【会場】山下公園、港の見える丘公園、日本大通り、**

**横浜山手西洋館、そのほか市内のあちこち**

バラが満開になる5月に、バラを主役にしたさまざまなイベントを、市内のあちこちで開きます。

### ●ばらフェスタ

最新品種のバラの展示など  
5月15日(水よう)～19日(日よう) 大さん橋ホール

【お金】1,500円(前売りは1,200円)。かわいいことは、3月22日(金よう)からNTTハローダイヤルでください。

### ●ローズ&ガーデンマーケット

5月18日(土よう)～19日(日よう) 日本大通り

ガーデンネックレス横浜

検索

## さくらの見どころ

(みなとみらい21地区さくら通り、汽車道、大岡川など)



**【見ごろ】3月終り～4月初め**

港が見えて、さくらが楽しめる春のおすすめスポットです。さくら通りや汽車道のさくら並木のほかにも、大岡川や掃部山公園もすてきです。

### ●みなとみらい21 さくらフェスタ2019

3月23日(土よう)～31日(日よう) 0円で入れます

## チューリップの見どころ

(横浜公園、日本大通り、山下公園、新港中央広場)



**【見ごろ】4月初め～中ごろ**

横浜公園ではおよそ14万本のチューリップがさきます。4つの会場で、ちがうテーマのチューリップガーデンが楽しめます。

### ●よこはま花と緑の春フェスタ2019

4月12日(金よう)～5月6日(月よう・休日) 0円で入れます